

単元名 8 未来へ向かってー漢字に親しもう6

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 音訓や部首などに気を付け、これまでに学習した漢字を読んだり書いたりすることができる。
(3) 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとする。

標準的な展開例

12210304_001

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
1 これまでの学習を生かして漢字の問題に取り組む。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ これまでの学習を生かして問題に取り組もう。 ○ 「漢字に親しもう6」に取り組む。	・ 3年間の漢字の総まとめとして、言葉の意味を辞書で確認しながら問題に取り組ませる。 ・ 漢字の音訓、熟語、部首、送り仮名、類義語・対義語などに注意させる。 【評】漢字の問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。

【 備 考 】

国際性というと、流暢な外国語の能力や事業のスケールといったことばかりに目が向きがちである。しかし、それとは全く意を異にしている文章を読むことで、生徒たちに国際社会における人と人との関係についての考えを深めさせたい。また、新しい進路を控えたこの時期の生徒たちは、「自分とは何か」、「自分らしく生きるためにはどうすべきか」を探し求め始める。しかし、その答えは、そう簡単に見つかるものではない。他の人々の生き方や文学作品に表れた作者の思いに触れることで、少しずつ探り当てていくものだろう。教材を通して、国際社会の中で、自分らしく生きることとはどういうことかを考えさせたい。

中学校3年間の学習もまとめの時期である。教科書やノート、学習プリント、作品、さらには読書記録などを見直して、学んだこと、身に付いたこと、出会った言葉など、観点を立てて整理することを通して国語の学習のまとめとしたい。また、まとめた冊子などをもとに発表会などをして、互いにこれからの学びに生かせることなどを話し合わせたい。